

様式第2号（第9条関係）

会議録

会議の名称	ふじみ野市生きがい学習推進計画審議会第3回 審議会会議			
開催日時	令和5年10月31日(火) 開会時刻 午後9時30分 閉会時刻 午後11時40分			
開催場所	本庁舎 3階 A301会議室			
出席した者の氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
	会長	大久保昭男	委員	大川 正
	委員	朴 淳香	委員	石橋 裕
	委員	塩野 悦子	委員	秋元江利子
	委員	村田 真人	委員	岩城 英隆
会議の議題	(1) 第2期ふじみ野市生きがい学習推進計画 (素案)について (2) パブリック・コメントの実施について			
会議の公開又は非公開の別	公開・非公開			
会議の非公開の理由				
傍聴人の数	0人			
会議の内容	別紙のとおり			
会議資料	別添のとおり			
事務局	市民活動推進部協働推進課			
議事の確定	確定年月日	令和5年12月 8 日		
	記名押印 又は署名	役職名 会長 大久保昭男 ㊟ ※自署の場合は、押印不要です。		

発言者	発言の要旨
事務局	1 開 会
大久保会長	2 挨拶 《会長挨拶》
大久保会長	3 議事 議題(1) 第2期ふじみ野市生きがい学習推進計画（素案）について
事務局	《資料1：第2期ふじみ野市生きがい学習推進計画（素案） 当日配布資料：第2回審議会からの変更 をもとに説明》
大久保会長	第1章、第2章の内容から審議していきます。 ご意見、ご質問お願いします。
石橋委員	2頁の計画の位置づけの所にある「教育振興」は「教育振興基本計画」が正しい名称ではないでしょうか。 5頁現状と課題の(2)「現代は、将来の予測が～」内の「困難」と「できない」の概念は異なるので、文章の整理が必要ではないでしょうか。
事務局	修正します。 頁欄外に注釈を設けていますが、注釈を設けず文章内に語句説明や、言い換えた文言にすることもできます。カタカナ語の言い換えや注釈の取扱いについてご意見をいただきたいと思えます。
大久保会長	多くの計画書などは、頁欄外に注釈が設けられている。読み手が読みやすいかどうかで御意見をいただきたいと思えます。欄外の注釈を読まないと言葉の意味が分からないというのは意味がないのではないかと思います。
村田委員	注釈で書かれている内容は、一般的に知られている言葉なので注釈でいいと思えます。

塩野委員	注釈内容を本文に盛り込めば、余白の調整も不要で、カタカナが多くて読みにくいという問題も解消されると思います。
村田委員	一般に通用する言葉に関しては、かっこ書きにするなどして、本文に盛り込んでもいいと思います。
秋元委員	カタカナで書かれている言葉については、本文に入れた方がいいと思いますが、言葉によっては分かりづらくなってしまうものもありますので、精査が必要だと思います。
朴委員	本文だけ読んでもわかりやすい表現であり、下にも注釈があるというのがいいと思います。注釈は基本的にはあった方がいいように思います。
事務局	注釈を全部無くすつもりはありませんが、カタカナ語については、積極的に使わない方が良くとも思います。注釈については検討します。
大久保会長	「ウェルビーイング」について、説明が足りません。今回の計画の中で新しく出てきた言葉に関しては、説明が必要です。
岩城委員	注釈を示す米印の数字が小さく読みづらいです。
大久保会長	PDCAサイクルの記述に関して、「計画の実施状況の把握と進行管理について、毎年点検、評価、課題の分析を行います」とありますが、分析だけではなく、必要に応じて見直しを図る必要があると思います。
大久保会長	<p>国の生涯学習の動向に関して。教育振興基本計画は、教育基本法17条2項に位置付けられており、地方自治体でも最上位に位置付けられる計画です。素案では、国が掲げるコンセプトについては書かれていますが、5つの基本方針について記載していません。</p> <p>埼玉県動向について、教育振興基本計画の策定中ですが、生涯学習についてどのように示しているのかを記載は必要だと思います。</p>
村田委員	基本方針を掲載すると全体像がわかるのでしょうか。

<p>大久保会長</p>	<p>基本方針が載っていれば、これから目指す方向性は分かると思います。基本方針の5つは非常に重要であり今後の取組をどうするのかが分かる部分です。</p> <p>事務局で検討してください。</p> <p>それでは、第2章「現状と課題」に入ります。</p> <p>まず最初に、社会環境の変化による現状と課題ということで分析がされています。ご意見等お願いします。</p>
<p>石橋委員</p>	<p>国が、将来に向けた未来を創造する中で、今一番力を入れているのはデジタルトランスフォーメーションの推進です。大きな変革をしていかないと、国そのものが取り残されてしまうという考えが強くありますので、ここに記載すべきだと思います。</p>
<p>大久保会長</p>	<p>(2) 急激に変化する社会の本文中、「持続可能な社会の創り手」から、「持続可能な社会の創り手の育成」に修正をしてください。</p> <p>また、(3) 地域コミュニティや地域のつながり内の「また、新型コロナウイルス感染症の流行や～」及び「地域コミュニティの維持には、～」の文章表現の見直しが必要です。</p>
<p>石橋委員</p>	<p>(4) 社会人の学び直しについて、リスキリングや過去の経験を生かし、キャリア形成などに結び付けていくものですが、記載が足りないと思います。</p>
<p>大久保会長</p>	<p>内容的に、コンパクトにまとめすぎています。</p>
<p>大川委員</p>	<p>現行の計画では、環境問題、労働形態の問題など個別の項目で載っています。新しい計画はまとめすぎていて、具体的なイメージが湧いてこないなので、項目を増やしてもいいと思いました。</p>
<p>大久保会長</p>	<p>(4) についても説明が不足していると思います。</p> <p>次に2、アンケート調査結果についてですが、アンケートからみる課題と捉えていますので分析結果の文末表現の整合性を見て整理いただければと思います。</p>

朴委員	「取組」と「取り組み」の表記、書き方の法則があるのでしょうか。
事務局	動詞として使う場合は「取り組む」、名詞として使う場合は「取組」と使い分けています。
大久保会長	文末表現が「求められています」や「重要です」となっているものがあります。課題として受け止めた時、「必要がある」がいいと思います。表現の統一性も検討してください。
石橋委員	アンケート結果の客観分析に留めるのか、アンケート課題に対し市としてどう取り組むのか、方向性を統一した方が良いと思います。
大久保会長	文末表現については、もう一度精査してください。 それでは、3「第1期生きがい学習推進計画の取組状況」について、ご意見等よろしくお願ひします。
大久保会長	施策1から6まで成果と課題の表現方法が統一されていません。成果で終わっているもの、課題まで記載されているものが混在しています。
村田委員	取組状況について、施策の柱2は結果のみを書いているだけで、課題がありません。施策の柱1は「今後も～」の所でおそらく段落を分けた方がよいと思います。
事務局	課題までは言及せずに、施策の柱2のように施策だけをまとめた形に統一します。
大久保会長	それでは4ふじみ野市の課題と計画の方向性です。ご質問等ありましたらお願ひします。
村田委員	第1期の取組からの課題も踏まえた方がよいと思います。
事務局	検討して修正します。
大久保会長	第3章に移ります。 基本目標を3つ掲げていますが、冒頭の2頁でSDGsを位

事務局	<p>置付けています。実際、計画とどうリンクしているのかが全然表われていませんので、SDGsをここに位置付けるよう検討いただきたいです。</p> <p>検討します。</p>
大久保会長	<p>生きがい学習推進のイメージ図について、「まなぶ」「ひろがる」は市が主体となる文末だが、「つながる」は第三者目線の文末となっているため変えてもらいたいです。</p> <p>それでは、3 計画の基本目標について。指標についても事務局から説明がありました。ご質問等ありましたらお願いします。</p>
石橋委員	<p>基本目標（3）地域の中で生きる力を高め合えるまちの「生きる力」は文部科学省が捉える概念と一般的な概念が異なるため、文部科学省が示している概念が伝わるのでしょうか。</p>
大川委員	<p>現行計画の目標値達成状況について新型コロナウイルスの影響を受けたという説明を加えた方が良いと思います。</p>
大久保会長	<p>生きがい学習に取り組んだ人の数の指標を上げるには、動いていない人を動かす必要があり、ハードルが高い。この指標の方向性としては、市民の方々がいつでもどこでも学べるような環境整備をしていくと捉えていることから、50%を目指せるように取り組んで欲しいです。</p>
村田委員	<p>指標の現状値がアンケート結果を踏まえているのかどうか明確にした方が良いと思います。</p>
事務局	<p>検討させていただきます。</p>
大久保会長	<p>それでは第4章施策の展開について、ご質問等をお願いします。</p>
石橋委員	<p>施策1の子どもと青少年の学びの支援について、子どもや青少年、児童という表現ですが、法律によって対象年齢が異なります。</p> <p>ここではっきりと、子どもと青少年の区別を入れる必要があ</p>

事務局	<p>ると思いました。 精査いただければと思います。</p> <p>本計画については、子どもは小学生まで、青少年は中学生、高校生を概ねの形で捉えています。表記についてもう一度検討いたします。</p>
村田委員	<p>修正をかけた施策2のバリアフリーサービスの実施ですが、基本的には読書サービスになるのでしょうか。</p> <p>図書館のホームページに載っている表現が、バリアフリーサービスならわかると思うのですが、社会教育課となっていますので、表現を考えてもらった方がいいと思います。</p>
事務局	<p>読書に関するサービスであり、表現を変更します。</p>
大久保会長	<p>施策全体として方向性の記述の分量のバランス、文言の使い方は、検討が必要だと思います。</p> <p>また、何が現状で、何が課題なのか捉えにくい表現になっていると思います。施策の方向性の記述と現状と課題の扱い方について検討する必要があるように思います。</p>
塩野委員	<p>一般の方たちにも分かりにくいと思います。説明が簡単に済まされすぎていると思う部分があります</p>
大久保会長	<p>第5章、計画の推進ということで、PDCAサイクルの実践についてですが、こちらはよろしいですか。</p> <p>全体を通して、ご意見等がありましたお願いします。</p> <p>無いようですので、次の議題、パブリック・コメントの実施について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>議題(2) パブリック・コメントの実施について。 《資料2：パブリック・コメントの実施について をもとに説明》</p>
大久保会長	<p>パブリック・コメントの実施についてご質問等がありましたら、お願いします。</p>
村田委員	<p>公表場所について、ホームページには掲載しないのでしょうか</p>

事務局	か。 ホームページにも掲載します。
大久保会長	本日予定されていた議題は以上となります。 進行を事務局にお返しします。
事務局	<p>ありがとうございました。本日審議いただいた内容を可能な限り反映させていただき、パブリック・コメントを実施します。委員みなさまには、字句の修正、方向性も含めて修正させていただいた素案を確認いただき、それを踏まえた上でパブリック・コメントを実施したいと思いますのでよろしくお願ひします。</p> <p>次回、第4回審議会は、令和6年2月に予定しております。パブリック・コメント実施結果を踏まえての開催となります。</p> <p>以上で令和5年度第3回生きがい学習推進審議会を終了いたします。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>